

明湖会

令和七年度の明湖会の活動を振り返って

会長 外山 和久

日頃より明湖会の活動に対し格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度、明湖会会長を務めることとなり、改めて明湖会の活動について整理してみました。明湖会とは、「明るい湖西のまちをつくる会」の略称であり、住民同士の交流や地域のつながりにより、青少年の健全育成と明るいまちづくりをめざし、平成三年に発足をしました。そして、これまで三十五年の歩みを重ねてきました。また、地域組織を「地域明湖会」（※現在十六地区）と称し、かつての地域社会教育振興協議会を引き継ぐものです。

これまでの伝統を受け、今年度も地域明湖会は、それぞれの地域において、フェスタ、文化祭、納涼祭、秋祭り、ウォーク、球技大

会、清掃作業等の地域独自の工夫された事業・活動を企画・運営し、明るい地域づくりと青少年の健全育成に貢献することができました。明湖会会長として大変感謝しております。

今年度の明湖会本部の主な事業・活動として、役員会、推薦委員総会（書面対応）、情報交換会（本部および各地域明湖会代表）、青少年健全育成大会、家庭の日の作品募集、街頭キャンペーン、県下一斉補導、あいさつ・声掛け運動等を予定どおり実施することができました。特に情報交換会では、四つの観点（役員・運営費の流れ・活動内容・課題）について意見交換をおこないました。いくつかの検討課題も残されましたが、市内十六地区からの意見を聞くなかで、これからの事業・活動に生かしていくためのヒントを得ることができました。また、家庭の日の作品募集では、六百を超える作品応募があり、審査をするなかで、温かな家族のふれあいが作品

を通して感じられ、心が和みました。

ところで、現代社会においては、情報化や少子化、家庭や地域のつながりの希薄化など、青少年を取り巻く環境が大きく変化しております。このような中で、青少年が心身ともに健やかに成長し、社会の一員として自立していくためには、家庭・学校・地域社会が連携し、社会全体で育む体制づくりがますます重要になっております。

明湖会では、社会教育の一環として、明るい地域づくりと地域に根ざした青少年の健全育成活動を推進し、地域住民が夢と希望をもって生活できる環境づくりに努めてまいります。今後も、地域ぐるみの支え合いを基に、多様な世代が協力し合いながら明るいまちづくりおよび青少年の成長を見守り、育てていく取り組みを推進してまいります。皆さまの温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八成人工健康中心 九月廿四日

